

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
異文化間コミュニケーション II Intercultural Communication II		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
英会話 III				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
S. プロテュー	非常勤講師室	なし		授業中に指示します
授業の概要				
この授業は、世界中の国々の習慣と価値観等を紹介する。他国者の価値観等を理解できると、誤解を避けることができるし、その国の人々ともっとうまくコミュニケーションできるだろう。そして、自分の国の長所と短所にも気がつくことができます。				
授業の目標				
①日本と他国の習慣等について比較して、対比することができるようにする。 ②外国の国々と比べて日本の文化や社会についての良い点を確認して、述べることができるようにする。 ③教材のCDを聞いて、色々ななまりを理解することができるようにする。				
授業の方法				
各回のトピックに関連する単語を勉強する。そして、CDを使用して、色々な国の人々はそのトピックについての意見や体験を聞く。彼らの話は例として、学生と教員が日本の状況について話し合う。				
学習の成果（学習成果）				
①他国者の習慣等を理解でき、21世紀の国際人として視野を広げることができる。 ②他国と日本のことを比べて、自分の文化のメリット等について考慮して、他国の人に述べるができる。 ③英語は母語ではない外国人のなまりになじむことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	Introduction to the course      Family Life			
第2回目	Dating			
第3回目	Personal Space			
第4回目	Gestures and Customs			
第5回目	Food and Drink			
第6回目	Gift-giving			

第7回目	Complaining
第8回目	Shopping
第9回目	Special Occasions
第10回目	Work Customs
第11回目	Cultural Identity and Values
第12回目	Men and Women
第13回目	School
第14回目	Time
第15回目	Review of the Course

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	トピックの要点を理解し、グループディスカッション等に積極的に参加する。
レポート	40%	宿題として、トピックについて感想文等を書いて、次回に発表することができる。
調査報告書		
小テスト	30%	トピックについての質問に考え深いことを書くことができる。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

People Like Us

履修上の留意点・ルール

特になし